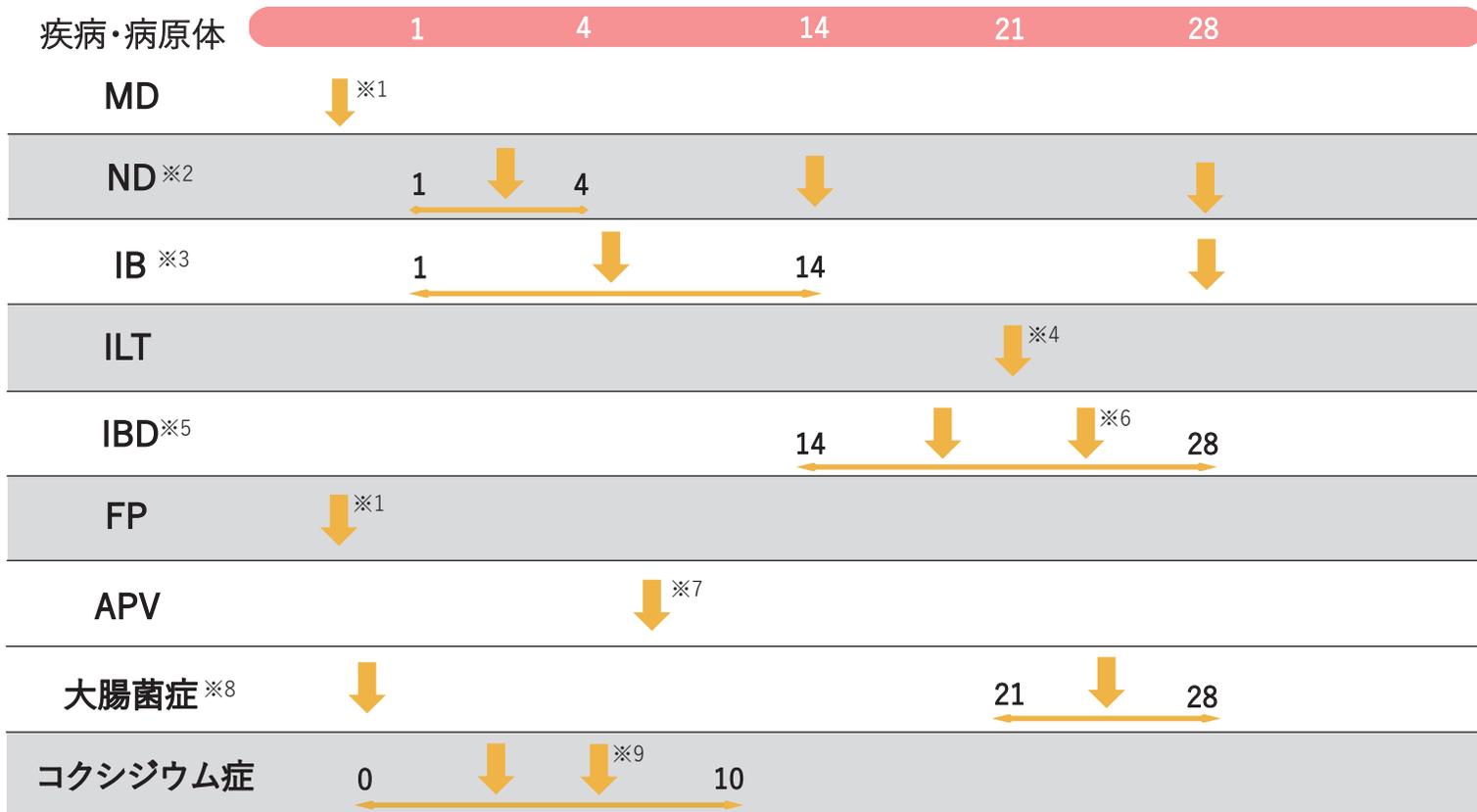


# ワクチネーションプログラム(肉用鶏)<sup>(1)</sup>

(日齢)



↓ : 生ワクチン

- ※1 : 18~19日齢発育鶏卵での卵内接種または0日齢ひなへの接種。
- ※2 : IBおよびILT生ワクチンとは1週間以上間隔をあける<sup>(2)</sup>。
- ※3 : NDおよびILT生ワクチンとは1週間以上間隔をあける。また、異なるIB生ワクチン株を使用する際は、1~2週間以上間隔をあけること<sup>(3)</sup>(ワクチンによって異なるため、添付文書をよく読み、ご使用ください)。
- ※4 : IBおよびNDワクチンとは2週間以上間隔をあける。発生時に接種されることが多い<sup>(4)</sup>。
- ※5 : 18~19日齢発育鶏卵での卵内接種に置き換える場合もある。
- ※6 : 1週間隔で2回接種する。
- ※7 : IBワクチンとは1週間以上間隔をあける。
- ※8 : 0~14日齢での不活化脂質アジュバントワクチンの1回接種に置き換える場合もある。
- ※9 : 1回目は鶏コクシジウム感染症混合生ワクチン、2回目は鶏コクシジウム感染症(ネカトリックス)生ワクチンを接種。2回目の接種は、初回接種から4日以上間隔をあける。

出典:(1)鶏病研究会, 鶏病研報, 53(2), 82-95, 2017  
 「総合ワクチネーションプログラム2017」  
 (2)各社ND生ワクチン添付文書  
 (3)各社IB生ワクチン添付文書  
 (4)Diseases of Poultry 14<sup>th</sup> Ed., WILEY-BLACKWELL, 201-2, 2020

<疾病・病原体名 正式名称>

MD:マ レ ッ ク 病	ILT:鶏 伝 染 性 喉 頭 気 管 炎	APV:トリメタニューモウイルス感染症
ND:ニ ュ ー カ ッ ス ル 病	IBD:鶏伝染性ファブリキウス嚢病	
IB:鶏 伝 染 性 気 管 支 炎	FP:鶏 痘	

※ワクチンは獣医師等の処方箋・指示により使用すべき要指示医薬品です。ご使用の際は製品の添付文書をよくお読みください。